

第15回企画展テーマ展示
『坂の上の雲』にみる日本海海戦

運命の海

戦力で勝るロシア海軍と日本はいかに戦ったのか。
世界戦史に例のない大海戦が始まる。

2022年2月22日(火)ー2023年2月12日(日)

休館日：月曜日(休日の場合は開館) 開館時間：午前9時ー午後6時30分(入館は午後6時まで)

観覧料：一般400円(320円) 高校生200円(100円) 高齢者(65歳以上)200円(160円)

※中学生以下は無料 ※()内は20名以上の団体割引料金

坂の上の雲ミュージアム

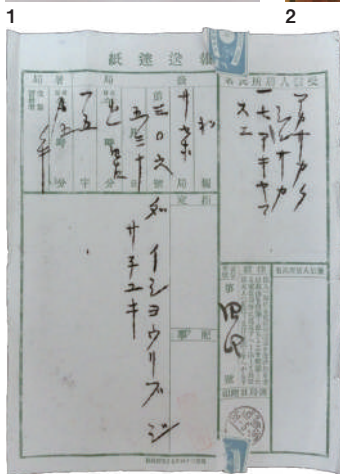
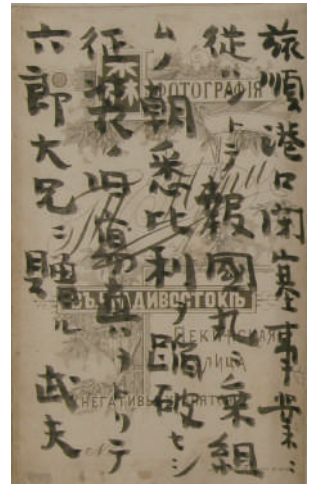
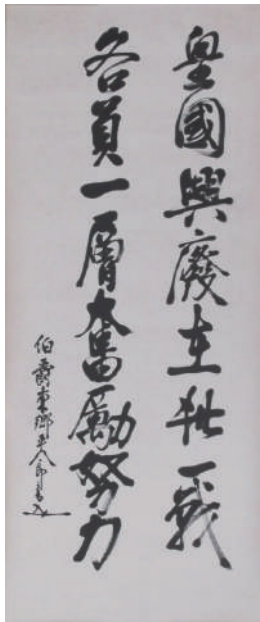
SAKA NO UE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL089-915-2600 FAX089-915-3600
<https://www.sakanouenokumomuseum.jp/> E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp

運命の海

1905（明治38）年5月27日、28日の日本海海戦で、日本の連合艦隊はロシアのバルチック艦隊と戦いました。この海戦での圧倒的な勝利は、日本海の制海権を確実なものにしただけでなく、日露戦争そのものの戦局を有利に導くことになりました。日露開戦当初から戦力で勝るロシア海軍に、日本海軍はどのように立ち向かったのでしょうか。

小説『坂の上の雲』で日本海海戦を描いた「運命の海」の章を軸に、日露海軍の戦いの様相をみていきます。



1. 東郷平八郎書「皇國興廢在此一戰各員一層奮勵努力」 2. 東城鉦太郎画「『三笠』艦橋の図」（原資料：記念艦「三笠」所蔵）
 3. 八代六郎あて広瀬武夫写真真書 4. 秋山季子あて真之電報（個人蔵） 5. 「三笠」関係資料（速力通信機表示盤・「海図室」名板・ガラス窓）
 （記念艦「三笠」所蔵） 6. 「三笠」之旗（呉市海事歴史科学館所蔵） 7. 東郷・秋山ほか集合写真（個人蔵）
 挿絵／原画：下高原健二（石川武美記念図書館所蔵） 表面／東城鉦太郎画「日本海大海戦の図」（『征露図会』明治38年9月20日号より）

坂の上の雲ミュージアム

SAKA NO UENO KUMO MUSEUM
 〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600
 E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:https://www.sakanouenokumomuseum.jp/

- アクセス
- ・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車（道後温泉行）—— 大街道下車—— 徒歩2分
 - ・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車（全線）—— 大街道下車—— 徒歩2分
 - ・松山空港から [所要時間約30分] リムジンバス（道後温泉行）—— 一番町下車—— 徒歩2分
 - ・松山観光港から [所要時間約30分] リムジンバス（道後温泉行）—— 一番町下車—— 徒歩2分
 - ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]

